

栃木県立真岡高等学校社会部の活動方針及び年間活動計画等		
目標	○部活動の実施にあたっては、生徒の安全を第一に考えて実施する。怪我等の防止に努め、生徒間の話し合いを重視する。 ○白布祭での研究発表、さらには各種コンクールへの参加を目指す。 ○活動をととして、生徒が豊かな心を持ち、広い視野で周囲を観察して学校生活を送ろうとする主体的な態度を養うとともに、生徒の学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の育成を目指す。 ○部員全員の学業成績の向上を目指す。	
活動方針	○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な活動日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ計画的に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○感染予防対策として、換気など適切な室内作業のリスクマネジメントを構築する。	
休養日	○原則として、毎週木曜日を活動日とする。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。	
活動時間	○原則として、一日の活動時間は、平日は2時間程度として19時には完全下校とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。	
月	参加予定大会等	その他
4月		
5月		
6月		○近隣地域で調査巡検実施。 ○研究テーマの決定。
7月	○高校生新聞社 地域研究実践報告	○先行研究まとめ。
8月	○校外研修(県外等)	○調査巡検実施(個人又は団体)
9月	○白布祭での校内発表	
10月		
11月		○社会部会報原稿作成
12月		
1月		○部内発表
2月		
3月	○社会部会報発行(高文連扱い)	